

表紙

令和4年度学校推薦型選抜Ⅰ

一般推薦

小論文

農学部 森林科学科

令和3年11月18日（木）実施

10時00分～11時30分

開始前に以下の注意事項をよく読んでおくこと。

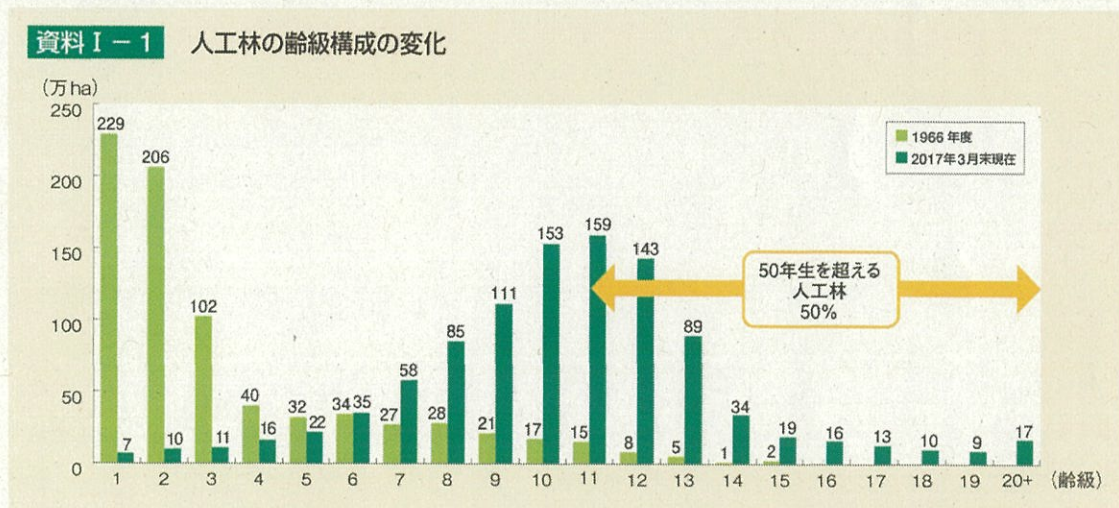
1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この問題冊子には、2つの設問がある。  
乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。  
所定の欄以外に記入したものは、無効である。

問題 日本は、国土の7割が森林であり、森林の有する多面的機能（国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止、木材の生産、生物多様性の保全、保健・レクリエーション）は国民生活の安全及び国民経済の発展に大きく貢献している。一方、日本の森林は人の手で植栽された人工林が大きな割合を占めており、森林の有する多面的機能を持続的に発揮するために、森林の適正な整備・管理が必要である。

このことを踏まえて、以下の問に答えなさい。

問1 下の図は、1966年度と2017年3月末現在の人工林の齢級構成<sup>注)</sup>を示したものである。この図から、人工林の齢級構成の変化について読み取れることを記述せよ。

問2 人工林の齢級構成が高い齢級で偏った状態がこのまま継続した場合、森林の有する多面的機能（国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止、木材の生産、生物多様性の保全、保健・レクリエーション）の中から大きな影響があると考えられる機能を一つ挙げて、その理由について説明せよ。また、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるために、今後実施すべき人工林の齢級構成の対策について記述せよ。



注) 齢級は、林齢（森林の年齢）を5年の幅でくくった単位で、苗木を植栽した年を1年生として、1～5年生を「1齢級」、6～10年生を「2齢級」、11～15年生を「3齢級」と数える。

資料Ⅰ-1の齢級構成は、齢級別の人工林面積を表している。

資料：林野庁「森林資源の現況」（平成29（2017）年3月31日現在）、林野庁「日本の森林資源」（昭和43（1968）年4月）

（出展：令和2年度森林・林業白書）